

つくしだより



令和4年8月号

「都立・公社病院」が

「独立行政法人」に

都連理事 安藤 万寿代

都立・公社病院の存続を願う40万筆以上の請願がありながら、3月の都議会で都立病院廃止条例が可決されました。総務省から独立行政法人の設立も行われ、7月1日から松沢病院を含む全都立・公社病院の経営や運営は、独立行政法人に変わります。「これから、どうなるのか？」松沢病院に通う患者やご家族の皆様、地域の方々から疑問や不安が寄せられています。

6月18日北上沢区民センターで「都立松沢病院の今後を考えるシンポジウム」が開催され、パネリストとして出席致しました。

第一部特別報告「都立・公社病院の独立行政法人化 本当にいいの？」

講師 尾林芳匡弁護士

(八王子合同法律事務所)

公立病院は地方自治体の重要な事業です。医療は生存権を保障するためのもの(憲法25条)で、生命の尊重と個人の尊重の保持という理念に従って、安心して医療を受けられる体制を整備して健康を保持することは、国と地方自治体の大切な

業務です。

医療は採算制や営利目的とは異質であり、採算制の乏しい分野でも、住民の健康と生命のために取り組むべき立場にある公立病院は、採算制や営利目的とはほど遠いです。公立病院の再編の歴史は、経営効果の向上や採算制が過度に強調され、公立病院の統廃合や民営化が進められてきた歴史があります。

東京都立病院も石原都知事時代の「都立病院改革マスタープラン」から始まり、都立病院経営委員会で検討されてきました。

地方独立行政法人の問題点は、①住民サービス後退の恐れ②住民自治・住民参加の後退③議会の関与の後退・空洞化④職員・労働者の身分保障と権利の剥奪が挙げられます。

先に行われた大阪府立病院の地方独立行政法人化では、非紹介患者の初診料・差額ベッド代の価格や採算優先の病院運営、職員は過密労働で弊害があるとのことでした。

本来の公共サービスは①専門性・科学性②人権保障と法令厳守③実質的平等性④民主制⑤安定性が必要です。今後、医療への支援不足と遅れは決定的と話され、家族会は署名活動を活発にと話されました。

第二部 パネルディスカッション

パネリストとして精神障害者家族会の方で「東京つくし会」安藤・「あかね会」松原様・「都立・公社病院を充実させる連絡会事務局」(元松沢病院看護師)渡辺様・里吉都議会議員のお話をお聞きしました。

まず、安藤から「当事者の息子は医療保護入院で松沢病院へお世話になり、その後、任意入院となり半年で退院して、現在は16年間通院中で、自立生活を充実しています。医療が充実している松沢病院は安心して託せる病院と感謝しています。」、松原氏からは「当事者の息子は、あちこちの病院をめぐって、やっと受け入れて下さった所が松沢病院でした。最近病状も安定致しましたので、親としても感謝しています。」、渡辺氏からは松沢病院の現状、独立行政法人化された場合の問題点が指摘され、里吉様からは「都立・公社病院の独立行政法人化は中止をいたし、都民の命を守るために立ち止まるべきです。」というお話がありました。

「都立・公社病院」から「独立行政法人化」への波は、今後、大きく関わって来ることでしょう。

「都立病院・公社病院の独立行政法人化に
反対する集会」に参加しました

あかね会 松原 のり子

6月18日の午後、世田谷区にある上北沢区民センターで30数名の参加を得て、標記のシンポジウムが開かれました。

まず、公立病院の「独立行政法人化」とは何なのかということとを、長年この問題に取り組んで来られた尾林弁護士が講演しました。

医療は生存権を保障するものであるとして、公立病院の役割を説明しました。憲法²⁵条は、「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあること、公立病院は収益・採算制を求めるのではなく、都民の健康を守る存在であることを尾林氏は強調しました。また、医療法でも知事は営利目的として病院を開設することには許可を与えないことができる、独立行政法人化は採算重視であり、医療法から見てもおかしいと尾林氏は説明しました。

ところが石原都知事以来、都立病院は次々減らされてきました。16あった都立病院は半分の8病院になってしまいました。残った世田谷区内では、2002年「都立母子保健院」が廃止され、2010年「都立梅ヶ丘病院」が閉鎖され、府中の「都立小児総合医療センター」に統合されました。残った8病院も今回、都立病院ではなくなってしまうのです。

松沢病院の齋藤元院長が隔離拘束を極力無くしたと、精神の病気を持ちながら、運

悪くコロナに感染してしまった患者を病院挙げて治療してくださった出来事に私たち家族は感涙しました。まさに、都立病院の公立病院ならではの姿だったのです。

「あかね会」は京王線の千歳烏山にあり、松沢病院の地元になります。2年前「松沢病院を充実させる会」より「都立病院・公社病院の独立行政法人化反対」の活動要請があり、「あかね会」は署名活動や駅頭での宣伝活動に参加してきました。「あかね会」会員の当事者が、何人も松沢病院の御世話になっています。

私たち精神の患者を持つ家族としては、手間暇のかかる患者を採算度外視で診てくださる都立病院を、独立行政法人化してそろばん勘定で運営するのではなく、今まで通り都立直営で運営してほしいと強く思います。

訪問しました 中央区「つつじ会」へ

都連副会長 本田 道子

今日の会場は月島駅すぐの佃区民会館です。月島の駅へは何度か降り立ったことがあります。

以前、つくし会の理事をなさっていた徳山さんはつつじ会を支援なさっておりました。そのご縁で何度かつつじ会も一緒に一緒にさせていただきました。精神保健福祉士であった徳山さんが精神のグループホームを板橋に立ち上げてまもなく急逝され、その時のお別れ会

もこの区民会館でつつじ会のみなさまと一緒に行いました。そんな思い出深い区民会館の会場です。

訪問した7月27日は急激に増えたコロナの第7波にも関わらずに、会長の室田さんや、徳山さんのあとを引き継いでくださった直江さんなど8名もの参加です。

室田さんは徳山さんを知りません。こうして人の思いは引き継がれてゆき、つくしの家族会は続けられてきたのだ、と感慨を深めました。

事前に室田さんから

○つくし会のブロック会議が東・西二ブロックから23区ブロックだけになった理由

○これからのつくし会の活動について

○我が家の息子の話について

の課題が出されておりましたので、まずは、つくし会の理事不足、人手不足の話から。

そんな中でもつくし会の活動を止めてしまつたら精神障がい者のことはますます理解されない、私達の家族が生きにくい世の中になリかねない、などなど。

我が家の息子の話は少しでも参考になれば、との思いです。

室田会長を中心にしっかりとまとまっていて、現状を打開したい、という新しい会員さんをやさしく穏やかに見守っている皆さんのまなざしが印象的なあたたかな会でした。

私もあたたかく迎えていただき感謝、です。

武蔵野市 第二金曜会家族会を訪問して

都連副会長 植松 和光

6月10日(金)に第二金曜会家族会を訪ねました。

毎月第二金曜日に家族交流会を持つことから会の名前がついたようです。場所は、三鷹駅北口から歩いて10分ほどのところにある都立多摩府中保健所武蔵野三鷹地域センターでした。いつもこの場所で開いているそうです。当日の出席者は9名。最初に私のほうから東京つくし会の課題について話をさせていただきました。

① 会員の減少への対応

家族交流会の市報への掲載や会の広報紙の定期的発行で会の行事等を会員や行政機関地元のクリニック、支援機関等に配布するなどの工夫をする。

② 会の活性化と高齢化対策

平日に家族交流会を開催するとしても現役をリタイアした方やお母さんたちに限られてしまうので、土曜日や日曜日に開催することを検討したらどうか。

③ 相談活動の充実

家族会の基本は、「ご家族の悩みを共有すること」がとても大事であること。以上の話をさせていただきました。第二金曜会の皆様ありがとうございます。また、行きます。

世田谷区「はるの会」 つくし会へようこそ

都連副会長 本田 道子

季節がすっかり変わってしまいました。世田谷区等々力の駅に降り立ったのは5月28日、日曜日の朝、まだ春なのに、急激に暑くなり、の日々の頃のことです。

眞壁、植松、本田の3名で、昨年度つくし会への入会を申し入れてくれた社会福祉法人「はる」の家族会「はるの会」総会へのゲスト参加を致しました。

「はる」はたくさんの事業をしています。

・「社会就労センターパイ焼き窯」

・「パイ焼き茶房」 ・「ハルの邑(むら)」

・「しごと」 ・「はるの相談室」

・「ガーデンカフェ」ときそら」

これらの事業を利用して家族の方の家族会です。

世田谷区で「パイ焼き窯」の声を聞いたのは、1994年、平成6年ですからもう既に長い実績をお持ちですし、個人的には支援センターなどに参加させてもらったこともあり、さまざま活動も積極的になされていることも存じあげておりました。

世田谷区では「さくら会」「あかね会」について「はるの会」と3団体となりこれから一緒に活動してゆけることは、楽しみです。どうぞよろしく願います。

☆賛助会費☆ (敬称略)

柳沢クリニック	5000円
錦糸町クボタクリニック	5000円
草地玲子	2000円
高円寺クリニック	5000円
土屋 米子	2000円
吉田 晴哉	2000円
宮本 里詩子	2000円
新小岩南口クリニック	5000円
くるみクリニック	5000円
戸島絹江	2000円
徳井記念五反田メンタルクリニック	5000円
松原 のり子	2000円
代々木の森診療所	10000円
幸仁クリニック	5000円
天下堂医院	5000円
石川クリニック	5000円
打浪 誉也	2000円
小島 頼子	2000円
板橋 仁	2000円
石井メンタルクリニック	5000円
にしの木クリニック	5000円
廻田クリニック	10000円
伊勢田 堯	2000円
明神下診療所	5000円



このコーナーは、家族会間やつくし会との情報交流の場です。より良い家族会活動のために役立つ場にしたいと思っています。載せたい情報を毎月 20 日までに、つくし会事務所にメール (tsukushikai@chorus.ocn.ne.jp) または FAX (03-3304-1108) でお寄せください。

【知っ得情報】

会費入金等で利用が多いゆうちょ銀行は、「現金」振込の場合 110 円の手数料が加算されます。(2022 年 1 月 17 日～) ゆうちょ銀行の通帳、キャッシュカード利用では加算されません。手数料一覧は下記のとおりです。

	通帳・カード扱い		現金扱い	
料金払込人負担帳票(青い伝票) 5万円未満の場合	ATM	152 円	262 円	
	窓口	203 円	313 円	
料金受取人負担帳票(赤い伝票) 5万円未満の場合	窓口・ATM	0 円	110 円	
振替(ゆうちょ口座間送金)	ATM	100 円	窓口	146 円

○「結婚と恋愛―当事者の人生を考える」

日時 9月10日(土)

講師 オンラインフリースペース

『ハマッチャ』 共同代表

あいりきファシリテーター

野間 慎太郎氏他

会場 新宿区立障害者福祉センター

主催 新宿フレンズ ☎03-3987-9788

○「こころの健康と統合失調症への対応

特に家族の対応の仕方を考える」

日時 9月17日(土) 午後2時～4時

講師 高尾厚生病院診療所・精神科医

板橋 充氏 申込不要

会場 日野市中央福祉センター2階集会室

主催 日野いずみ会 ☎042-592-8993

○「医療のお困り事に答えます」

日時 9月23日(金) 午後2時～4時半

講師 なでしこメンタルクリニック院長

(外来、アウトリーチ支援)

精神科医 白石 弘己氏

会場 小金井市 市民会館 萌え木ホール

申込不要 先着48名

主催 小金井市あじさい会 ☎042-388-3729



編集後記

最近の世情はあまりに重苦しい出来事だらけ。編集後記には馴染まないのを書くことがはばかられる。安倍元総理の衝撃的な事件とカルト宗教と政治の癒着、ロシア(プーチン)によるあまりに非道残酷な侵略行為とウクライナで多くの人たちの命が失われているのに誰も何もできないという無力感、コロナが再拡大して生きづらい状況がまたやってきていること、精子が物のようにネットでやり取りされ生まれくる子供たちが出てきていることなどなど。人が人の命を操作する、軽視する、選別しようとする、ましてや消し去ろうとするそんなことが許されるわけがない。多様化は大事だ、でも無秩序になつてはいけぬ。時代がどう動こうとも個の存在や尊厳が守られ人としての対等性が大事にされる社会の創出を求め続けていきたいと感じます。コロナ禍の中、2年ぶりに青梅ほっとスマイルの総会、向川原聖名子氏による家族SST講演会(心に寄りそう接し方)を開催しました。2年前も予定していましたがコロナで急遽中止、そんなわけで今回は是非でもと実施に踏み切りました。(感染対策には十分気をつけ)楽しく和やかな、共感しあえる雰囲気!感動的でした。「病気をなくすではなく健康な部分を増やす・人薬になる・自分が変われば相手も変わる」などなど。大切なキーワードをそれぞれが今からと胸に刻んだひと時だったと思います。猛暑でしたが外は真夏の青い空、心はさわやかでした。

都連理事 中住孝典

つくしだよりは赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。